大甕小学校だより

124名の瞳 No15

平成２９年１２月１５日発行

大甕小学校長 江上君子

【教育目標】　思いやりのある子ども　　進んで学ぶ子ども　　健康でたのもしい子ども
［重点目標］　考えをわかるように伝え合う

■校長メッセージ　　パーカッションアンサンブル生演奏の鑑賞

朝夕は、かなり冷え込み、気温も朝は２度を下回ることもあります。福島県の他地区では、一日中太陽が雲に隠れて、どんよりとしたグレイの空に雲がかかっているところもあります。浜通りは、比較的晴れの日が続きますが、朝夕の気温差が大きいので、風邪をひきやすいようです。保護者の皆様には、日ごろより子どもたちの体調管理を心がけていただき、ありがとうございます。その他学校の教育活動にご支援、ご協力いただき、重ねて御礼申し上げます。これから、インフルエンザ、ノロウイルス等感染症もでてきます。ご家庭での対応もよろしくお願いいたします。

７日に、５名のプロの演奏家によるパーカッションアンサンブル「ファンカっションコンサート」が本校体育館で行われました。音楽教育の中で、低学年がリズム、中学年が旋律、高学年がハーモニーを重点に学習していきますが、生演奏の迫力は格別でした。４５分という短い時間でしたが、もっと聴きたいと思っている子どもたちも多かったと思います。

演奏の様子

学校だより１２月１５日号で紹介した紙面には、児童代表のお礼の言葉の写真がありましたが、容量が大きすぎて、ホームページに載せられませんでしたので、写真を一枚省きました。

■お知らせ　　由利本庄市立大内小学校から、お米１０kgいただきました。

先月の報道で、由利本庄市が災害に見舞われたことを知り、児童会が中心となり、募金を大内小学校に送りました。そのお礼に、大内小学校が１年を通して栽培しているお米を１０kg送ってくださいました。１２４名の児童に小袋に分けて入れ、大内小学校の趣旨を伝えて、配ることにしました。

赤い羽根募金

１１月２０日～２４日の４日間で、児童会が中心になって、赤い羽根の募金を行いました。募金額は１５０２１円でした。ご協力ありがとうございました。